

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
消費者経済		大野 満奈	講義	2	前期
必修・選択	卒業要件	選択			
	資格要件	フードスペシャリスト受験資格必修			
学習目標	<p>近年における経済社会の変化と、国際化、情報化、少子・高齢化の進展は、消費生活のスタイルを高度化させながらも同時に、消費者問題（Consumer Affairs）そのものを内容的に一層複雑化させつつある。</p> <p>本講では、これら消費者問題の歴史的、体系的学習を通じて、経済社会と消費者の関係について理解するとともに、消費者自らが主体的、合理的な消費生活を送る上で必要とされる諸要素について考察し、社会の構成員としての資質を養うことを目的とする。できるだけ事例（ケース）を通してテーマに接近する。</p>				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	消費者経済とは	財とサービスの分類・経済の仕組みと消費生活			
2	経済社会の変化と消費者	人類史における消費者			
3	高度大衆消費時代	大量生産、所得革命、就業構造の変化			
4	消費者問題の発生	主な消費者問題			
5	消費行動	消費者の最適な行動			
6	ディスクロージャー	ステークホルダーと利害調整			
7	消費者心理	消費者の心理と消費行動			
8	企業の社会的責任と消費者対策	企業の社会的責任・企業の消費者対応の変化			
9	消費者被害とPL法	製造物責任の意義と企業対応			
10	不当表示	正取引委員会・景品表示法・JAS規格			
11	市場価格と消費	購買の原動力と市場特性に関する知識の重要性			
12	消費と「食」と社会生活	日本型食生活・家庭の食育運動			
13	環境問題と消費生活	消費の高度化と環境問題			
14	循環型消費経済社会	リサイクルとゼロエミッション			
15	消費者の貯蓄と資産	所得と消費・社会保障制度と年金問題			
参 考 書	<p>嶋村紘輝他著「入門消費経済学（第1巻）」慶応義塾大学出版会 2009</p> <p>清水聡著「新しい消費者行動」千倉書房 2002</p>				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	日々の社会の動き、特に講義のテーマに関連した内容については注目して問題点を整理しておく。自主的にノートを作成する。				
評価の方法と時期	授業態度、出席、定期試験を総合して期末に評価する。				